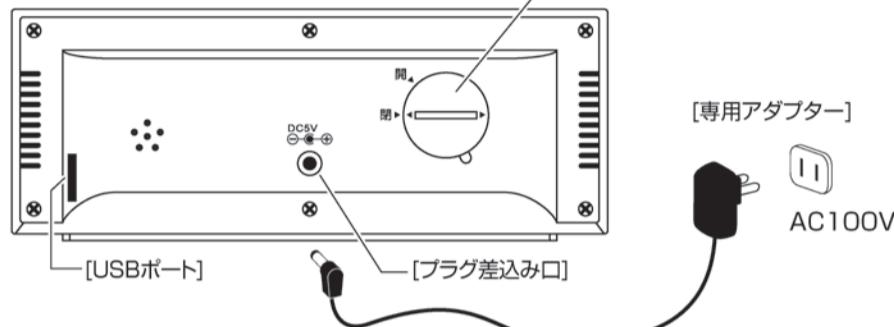


(本体裏面)



電池フタの開け方

- ①本体裏面の電池フタをコイン等で右に回して、電池フタの三角印を電池ホルダの「開」の位置に合わせ、電池フタを取り外す。
- ②コイン型リチウム電池(CR2032)を+表示を上にして入れる。

電池フタの閉め方

電池フタの三角印を電池ホルダの「開」の位置に合わせて入れ、「閉」の位置まで左に回し、電池フタを閉じる。

*補助電池のみでは表示しません。



ご使用方法

- ①表示ラベルを剥がす。
- ②本体裏面のプラグ差し込み口に、専用アダプターのプラグを差し込む。
- ③専用アダプターをコンセント(家庭用電源AC100V)に差し込む。
→「ピッ」と確認音が鳴り、時刻が点灯します。

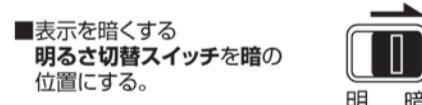
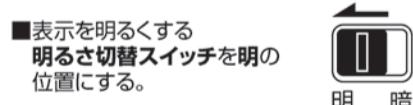


時刻を設定する

- 注意** 設定中の点滅は約20秒以内です。この間に操作を何もしないと点滅が終了して通常表示に戻ります。
- ①通常時刻表示のときに、時刻ボタンを2秒以上押し続ける。→時刻が点滅し、時刻設定モードになります。
 - ②時ボタン、分ボタンを押して、時刻を設定する。→時ボタンを1回押すごとに1時間、分ボタンを1回押すごとに1分加算されます。押し続けると継続して加算します。
 - *本製品は12時間制表示ですので、午前／午後に注意して時刻を合わせて下さい。設定したい時刻が午後の場合は、表示面の左上にあるPMマークが点灯するようにして下さい。
 - *[秒]は分ボタンを押すごとに00秒に設定されます。
 - ③時刻の設定が終了したら時刻ボタンを押す。→点滅が終了し、設定が完了します。

明るさ明暗切替機能

明るさ切替スイッチにより、表示の明るさを切替えることが出来ます。



*明るさは、使用時間の経過とともに低下します。これは、光源として使用しているLEDの特性によるものです。
 周囲の温度などに影響を受けますが、約15000~20000時間で初期の明るさの70%程度になります。
 明るさが低下しても、他の機能や性能には影響しませんので、そのまま使用することが出来ます。

補助電池について

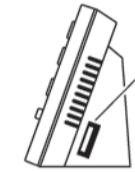
- 補助電池は、停電などで一時的(30分以内程度)に通電が遮断された場合の、時刻のバックアップ用です。
- 補助電池のみでの使用の場合は時刻表示をしませんが、時計内部で時刻を計測しています。通電後は経過時間を加えた時刻を表示します。
- *停電などで通電が遮断された後、補助電池を使用していない場合は、再通電すると時刻が12:00で表示します。このような場合は、再度時刻を設定し直して下さい。
- *補助電池が無い状態で通電が遮断された場合でも、製品内部の電気が完全に放電されなければ、再通電したときに時刻のバックアップが働くことがあります。

USBポートについて

本体側面にあるUSBポートに接続して、電子機器などを充電する事が出来ます。

ご使用上の注意

- USBポートの使用にあたり、ご使用機器の各種データ消失などに関する損害や修復について、当社では一切責任を負いかねます。
- 全てのUSB機器への充電を保証するものではありません。
- 出力電流値は、接続する機器の仕様によって異なります。
- 機器やコードの種類によっては急速充電出来ない場合があります。
- 使用機器のファームウェアのバージョンアップや使用しているOSなどにより充電が出来なくなる場合があります。
- 必ず使用機器の電池は装着した状態で本製品を使用して下さい。電池をはずした状態で充電すると機器を破損する場合があります。
- 手や金属などで触れたり、異物を挿入しないで下さい。接触不良などにより故障やケガなどの原因となります。
- 携帯電話やスマートフォンなどの充電中に時計表示が暗くなる/点滅する場合は、充電を中止し、USBポートから抜いて下さい。
- 本製品には機器との接続用のコードは付属しておりません。お手持ちの使用機器に付属、または機器指定のコードを使用して下さい。
- 使用機器がUSB充電に対応しているか、機器の取扱説明書などでご確認の上、ご使用下さい。
- 本製品のUSB A型端子にUSBハブなどを使用して、複数のUSB機器を接続しないで下さい。
- 使用機器付属の充電用ホルダーなどに接続しないで下さい。直接使用機器に接続して下さい。
- 使用中、テレビやラジオなどに雑音が入ることがあります。そのようなときは、これらの製品から出来るだけ離れた場所で使用して下さい。
- USBポートをご使用にならないときは、接続用のコードをUSBポートから抜いて下さい。



アラーム時刻を設定する

注意 設定中の点滅は約20秒以内です。この間に操作を何もしないと点滅が終了して通常表示に戻ります。

- ①通常時刻表示のときに、アラームボタンを2秒以上押し続ける。→表示がアラーム設定時刻に変わり点滅します。
- ②時ボタン、分ボタンを押して、アラーム時刻を設定する。→時ボタンを1回押すごとに1時間、分ボタンを1回押すごとに1分加算されます。押し続けると継続して加算します。

*本製品は12時間制表示ですので、午前／午後に注意して時刻を合わせて下さい。設定したいアラーム時刻が午後の場合は、表示面の左上にあるPMマークが点灯するようにして下さい。

*[秒単位]の設定はできません。

- ③アラーム時刻の設定が終了したらアラームボタンを押す。→点滅が終了し、通常時刻表示に戻り、アラーム時刻の設定が完了します。

*通常時刻表示のときにアラームボタンを押すと、アラーム設定時刻を約5秒間表示します。

アラーム機能の使い方

- アラームを鳴らす
アラームスイッチをONの位置にする。
→アラームマークが点灯し、設定した時刻になると、アラームが鳴ります。



アラームは鳴り始めから約2分後に自動的に鳴り止まり、翌日の設定した時刻になるまで鳴りません。(オートストップ機能)
 ※アラームマークは点灯したままで。

- アラームを止める
アラームスイッチをOFFの位置にする。
→アラームマークが消灯し、アラーム機能が解除されます。



止めてもまた鳴るスヌーズ機能

- アラームが鳴っている間にSNOOZEボタンを押す。→アラームが一旦鳴り止まり約5分後に再び鳴り出します。
- *スヌーズ機能中は、Zマークが点滅します。
- *スヌーズ機能は、何回でも繰り返すことが出来ます。
- *アラームが再び鳴らないようにするには、アラームスイッチをOFFの位置にします。

お手入れについて

- プラスチック部品、ガラスをふくときは、水で薄めた中性洗剤を少量含ませた柔らかい布でふいた後に、カラぶきして下さい。木製部品、金属部品は柔らかい布でカラぶきして下さい。
- ベンジン、アルコール、ミガキ粉、ブラシは使用しないで下さい。変色、変形、傷の恐れがあります。
- *お客様が分解しますと、修正不可能になる場合やケガの恐れがあり大変危険です。また保証の対象外となります。